

マックス株式会社 2025 年3月期 決算及び修正中期経営計画説明会 質疑応答録

この質疑応答録は、2025 年 4 月 30 日（水）に開催したアナリスト、ファンドマネージャ向け決算説明会にて、ご参加の皆さまからいただいた質問とその回答の概要です。

■インダストリアル機器部門について

〔質問 1〕

北米におけるインダストリアル機器部門の 2025 年 3 月期の第 4 四半期（3 ヶ月間）実績は、第 1 四半期から第 3 四半期の四半期毎の実績と比較すると減少していますが、どのように捉えているか教えてください。

〔回答 1〕

鉄筋結束機の機械は、2024 年 5 月に新製品「RB443T」を発売しましたが、2017 年に発売したツインタイアほどの大きな効果はなく足元の販売は落ち着いています。一方で、機械の累計稼働台数の増加に伴い、消耗品の販売は順調に推移しました。今後は、2025 年 1 月開催の展示会「World of Concrete」にて紹介した特大径モデル「RB823T」など製品ラインアップの拡充による機械の販売台数の増加や、ディーラーの育成などにより、北米市場の事業拡大を計画しています。

〔質問 2〕

2026 年 3 月期のコンクリート構造物向け工具の海外売上高は 295 億円の計画となっています。新製品の特大径モデル「RB823T」の寄与度を教えてください。

〔回答 2〕

具体的な数値は差し控えますが、特大径モデル「RB823T」はこれまで機械化ができていなかった鉄筋径を対象とする提案を想定しており、基本的に純増製品であると考えています。加えて、現行機種「RB443T」、「RB611T」も併せて販売する計画としています。

〔質問 3〕

コンクリート構造物向け工具の第 4 四半期（3 ヶ月間）の売上実績を教えてください。

〔回答 3〕

コンクリート構造物向け工具の第 4 四半期（3 ヶ月間）の売上実績は、海外は 69 億円で 17%の伸長、国内は 14 億円で 5%の減少となりました。海外・国内合計は 83 億円で 12%の伸長です。

機械と消耗品でみると、海外の機械は 10%、消耗品は 20%の伸長となりました。国内の機械は 29%の減少、消耗品は 3%の伸長となりました。

数量ベースでは、北米は機械 3%増、消耗品 8%増、欧州は機械 1%減、消耗品 26%増、国内は機械 30%減、消耗品 3%増となりました。

国内の機械が減少した背景は、前年の鉄筋結束機の新製品「RB-442T」発売（2024 年 12 月発売）による影響です。

■全社状況について

[質問 4]

2026 年 3 月期上期の営業利益は減益の計画となっていますが、その理由を教えてください。

[回答 4]

主な要因は為替の影響です。2026 年 3 月期は想定為替レートを 1 ドル 145.00 円、1 ユーロ 155.00 円で設定しています（2025 年 3 月期中間期の為替レート：1 ドル 153.93 円、1 ユーロ 166.49 円）。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が 2025 年 4 月 30 日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。